

前回訪問時から改善されていたこと

通信・面会について	前回訪問時、「電話が詰所前に設置されていた」と検討事項でお伝えし、「何かの間違いではないか」と回答いただいたため、今回確認させていただいたところ、すべての病棟の公衆電話は詰所から離れたところに設置されていた。
-----------	--

療養環境について	前回訪問時、病棟内には診察室がなかったが、今回、すべての病棟に独立した診察室が作られ診察を受けられるようになっていた。
	前回訪問時、ベッドについて順次ギャッジベッドの入れ替え等の検討をするとの回答があった。今回、A・B病棟には鉄パイプ製の古いベッドがあったが、C病棟のベッドは、全般的に新しくなっていた。
	前回訪問時、「隔離室入室者のための物置場」がなかったが、今回は私物ロッカーが設置されていた。
	前回訪問時、閉鎖ゾーン側の詰所カウンターの窓のカーテンが垂れ下がっていたが、今回はきれいに掛けられていた。また、前回訪問時、閉鎖ゾーン側の詰所の窓には「強く連打しないでください！！！！」など書かれたシールについては、今回は注意書きのシールはなかった。患者からは「看護師さんはとても丁寧で親切」などの声が聞かれた。
	前回訪問時、閉鎖ゾーンに1年前のカレンダーや先週のメニュー表などが置かれていたが、今回は閉鎖ゾーンの掲示物は、カレンダーもメニュー表も最新版に改められていた。

入浴に関すること	前回訪問時、入浴回数は夏場が週3回、それ以外の時期は週2回で、シャワー浴もあったが、その利用方法は患者にはあまり知られていなかった。病院からは、介助を要する患者が多数おられること等の状況説明があり、「現状入浴日を増やすことは厳しいですが、今後もより満足していただけるよう努めていきたい」との回答であった。今回の訪問でも、夏場は週3回、それ以外の時期は週2回と入浴回数は変わらなかったが、シャワーは随時できるようになっていた。
----------	--

金銭管理について	前回訪問時、事務手数料（各種管理手数料）に様々な手続きが一括して含まれていたが、今回訪問では、事務手数料の内訳は見直されており、金銭管理手数料は単独となって110円／日となっていた。認知症の患者も多く、病衣等セットレンタルを使用している患者が多く、その患者は金銭管理手数料が発生しないとのことだった。
----------	--

退院支援について	前回訪問時、患者から「退院の話は一度もない」「退院の目途やどうすれば外出できるようになるかの説明はない」との声があったが、今回訪問では、地域移行支援事業も積極的に活用する等、退院支援についての体制整備や活動が積極的に行われていた。
----------	---

意見箱について	前回訪問時、意見箱が閉鎖ゾーンにはなかったが、今回は設置されていた。
---------	------------------------------------